

# 平成 29 年度伊佐市当初予算の概要

平成 29 年 2 月 24 日招集の伊佐市議会第 1 回定例会へ提案  
 予算規模

一般会計：178 億円 (前年比：1.3%増)



1 7 8 億 円  
 い なほ はれやか さと  
 稲穂 なほ はれやか 伊佐の郷

当初予算の主な内容

【概数で表示】

## 施政方針【将来に向けた新たな挑戦と行財政改革の推進】

6つの重点施策 (主な内容)

### 1. 「実効性の高い安全・安心なまちづくり」

- ・ 社会資本整備で雇用を確保 道路・橋りょう・施設改修などの工事 2億 7,500 万円
- ・ 汚泥再生処理センターの建設 (H23~H29) 17億 2,100 万円
- ・ 小水流団地の建替 (H27~H29) 建設工事の実施 2億 1,000 万円

### 2. 「成長性を重視した新たな産業政策」

- ・ ふるさと納税の返礼品として、地元特産品を活用 5,000 万円
- ・ 畜産農家への支援 (優良種雌牛保留導入補助) 1,300 万円
- ・ 高校生向け企業ガイダンスの開催 (地元企業の紹介と労働力確保) 10 万円

### 3. 「移住・定住のための新たな展開」

- ・ 地域おこし協力隊導入事業 130 万円
- ・ 空き家バンク創設 11 万円

### 4. 「魅力ある地元進学・生徒招致の環境づくり」

- ・ 小・中学校 ICT 環境整備 (タブレットの導入) 1億 1,000 万円
- ・ 大口高等学校進学奨励金を継続 640 万円
- ・ 市内中学校・高等学校生徒へ、海音寺潮五郎著作単行本を配布 400 万円
- ・ 民間活力による学生寮の建設を支援 2,500 万円

### 5. 「スポーツによる地域活性化」

- ・ かごしま国体カヌー関連経費 (カヌー艇庫建設・備品購入等) 3億 2,500 万円

### 6. 「中期的な経営計画の再構築」

- ・ 地方交付税 【歳入】 56 億 4,000 万円 (H28 年度比  $\Delta$ 6,000 万円)
- ・ 市債 (借金) 【歳入】 26 億 3,000 万円 (H28 年度比 +3 億 1,100 万円)
- ・ 国保の赤字補填 (保険税の負担緩和で市民生活を支援) 2 億 7,500 万円

○ 「伊佐市まち・ひと・しごと創生総合戦略」 関連 37 事業 2 億 1,000 万円

## 平成 28 年度 3 月補正予算の概要

(通常分) 事業費確定による減額が主	$\Delta$ 5 億 100 万円
国民健康保険事業特別会計への法定外繰出 (赤字補填)	7,500 万円
(※H28 年度赤字補填総額)	2 億 8,000 万円)
減債基金積立	4 億 5,000 万円

# 1 当初予算総括表

【概数で表示】

会 計	平成 29 年度	平成 28 年度	増減	
	当初予算額 (A)	当初予算額 (B)	(A) - (B)	
一 般 会 計	178 億円	175.7 億円	2.3 億円	
特別会計	国民健康保険事業	48.9 億円	46.4 億円	2.5 億円
	介護保険事業	31.6 億円	31.8 億円	△0.2 億円
	介護サービス事業	0.2 億円	0.26 億円	微減
	後期高齢者医療	4.3 億円	4.6 億円	△0.3 億円
	簡易水道事業	0.55 億円	0.5 億円	微増
	農業集落排水事業	2.2 億円	1.7 億円	0.5 億円
水道事業会計	収益的収入:4.06 億円	収益的収入:4.04 億円	微増	
	収益的支出:3.86 億円	収益的支出:3.63 億円	0.23 億円	
	資本的収入:0.75 億円	資本的収入:1.27 億円	△0.52 億円	
	資本的支出:2.51 億円	資本的支出:2.72 億円	△0.21 億円	
歳 出 計	264 億円	260 億円	4 億円	

## 2 歳入

【概数で表示】

### ○市税 31 億円

(対前年度当初予算額: △1,300 万円 △0.4%)

市民税は米価高による農業所得の増加を見込み前年度比 800 万円の増収、法人市民税は市内法人の業績見込により対前年比 1,600 万円の減収とした。固定資産税は送電線などの償却資産の増加により前年度比 3,800 万円の増収を見込んでいる。また、鉱産税は産出量の調整により 3,900 万円の減収を見込んでいる。なお、入湯税は観光ツーリズム事業に充当している。

### ○地方交付税 56.4 億円

(対前年度当初予算額: △6,000 万円 △1.1%)

平成 29 年度は、前年度実績及び地方財政計画での減額を踏まえ見積もった。(臨時財政対策債は増額。)

平成 28 年度当初予算

普通交付税	50 億 0,000 万円	(対前年度当初予算	△5,000 万円)
特別交付税	6 億 4,000 万円	(対前年度当初予算	△1,000 万円)

### ○国・県支出金 42 億円

(対前年度当初予算額: △1 億 4,600 万円 △3.3%)

低所得高齢者向け及び障害・遺族基礎年金受給者向けの年金生活者等支援臨時福祉給付金が終了したことなどから国庫支出金で 4 億 3,600 万円の減少を見込み、汚泥再生処理センター施設整備事業、国民体育大会市町村有施設整備費補助金等により県支出金で 2 億 9 千万円の増額を見込んだ。

### ○地方消費税交付金 5 億円

(対前年度当初予算額と同額)

平成 28 年度と同額を見込む。なお、社会保障施策(社会福祉・社会保険・保健衛生)分 1 億 9,680 万円については、子育て関連経費へ充当している。

### ○寄附金(ふるさと納税) 1 億円

(対前年度当初予算額: 5,000 万円 200%)

平成 29 年度は昨年度当初予算の倍額を見込む。なお使い道の指定については、【子育て・高齢者対

策事業】【青少年健全育成事業】【魅力ある観光地づくり】【商店街の活性化】【農林業の振興】【コミュニティ活動の活性化】【その他】の中から選択していただき、各事業に充当している。(指定状況については、P 4に記載。)

**○市債 26.3 億円**

(対前年度当初予算額：3 億 1,100 万円 13.4%)

一般会計においては平成 28 年度より 3 億 1,100 万円増の 26 億 3 千万円を計上している。対して平成 29 年度の元金償還額は 15 億 2 千万円としており、借入額が償還額を 11 億 1 千万円上回ると見込んでいる。また、平成 29 年度は水道事業、簡易水道事業及び農業集落排水事業において、公営企業債 1 億 1,300 万円の起債を予定している。

平成 29 年度起債予定事業

(単位：千円)

事業	地方債名	交付税措置率	借入額
臨時財政対策債	臨時財政対策債	100%	500,000
公共土木施設等災害	災害復旧事業債	95%	14,800
農地農林施設災害			
消防組合負担金(高規格救急車)	過疎対策事業債	70%	614,400
可搬車更新(尾上班、水ノ手班)			
消防ポンプ車更新(元町)			
可搬ポンプ更新(川南班、徳辺班)			
消防団詰所建設(第2分団)			
市道整備事業			
橋梁長寿命化			
林道整備事業			
文化施設整備事業			
小学校小規模改修事業			
中学校小規模改修事業			
自治会活動支援事業	過疎地域自立促進特別事業	70%	120,600
コミュニティ協議会支援(運営支援、育成支援)	(過疎ソフト事業分)		
読書推進事業			
地域公共交通対策事業			
病院群輪番制病院運営事業			
在宅当番医制事業			
地域医療支援事業			
福祉タクシー利用助成			
むらづくり整備支援事業			
市道整備事業(十曾線)	辺地対策事業債	80%	26,400
県単補助治山事業	一般単独(防災対策事業)	57%	1,600
県営ため池整備(木崎上池)	公共事業等債	50%	14,300
県営用排水路整備(五反田・水車・多々良石)			
汚泥再生処理センター建設工事	一般廃棄物処理事業債	50%	1,174,200
衛生センター管理事業	一般事業債	0%	23,800
小水流団地建替事業	公営住宅建設事業債	0%	139,700
	借入額合計		2,629,800

平成 29 年度起債予定事業(公営企業)

事業	地方債名	交付税措置率	借入額
簡易水道等整備(水道事業)	公営企業債	-	113,100
富士地区水道整備事業(簡易水道事業)			
機能強化対策(農業集落排水事業)			

**○繰入金(財政調整基金から7億1千万円) 7.5 億円**

(対前年度当初予算額：2.1 億円 39.9%)

木造住宅整備促進支援基金、鹿児島県立大口高等学校活性化基金、海音寺潮五郎基金、公衆浴場運営基金、中高生連携推進事業基金から 4,254 万円、財政調整基金から 7 億 1,100 万円の繰入を予定している。

### 3 歳出

#### ◎ 政策Ⅰ 市民だれもが活躍できる自治づくり ～市民協働の体制づくり～

##### ○職員の派遣（継続）

伊佐北始良環境管理組合（1名）、伊佐北始良火葬場管理組合（1名）  
後期高齢者医療広域連合（1名）、始良・伊佐地区介護保険組合（1名）  
【災害復旧支援】  
南三陸町への職員派遣（3名）、甲佐町への職員派遣（1名）

##### ○ふるさと納税

ふるさと納税者への返礼 5,000 万円

ふるさと納税（1万円以上）をされた方にお礼として、伊佐市の特産品「ふるさとからの贈り物」を送付する。

伊佐の特産品 伊佐米、焼酎、黒豚、黒牛、チーズ等特産品 64品目  
H29見込 5千円×1,500人 1万円×2,000人 1万5千円×1,000人 2万5千円×300人

ふるさと納税による寄附の状況（市に直接寄附があったもののみ）（平成28年12月末まで）

使い道の指定	H25		H26		H27		H28	
	件数	寄附金額	件数	寄附金額	件数	寄附金額	件数	寄附金額
子育て・高齢者対策事業	476	513	1,460	1565	1,089	1,438	1,651	3,164
青少年健全育成事業	79	191	195	440	141	230	285	507
魅力ある観光地づくり	271	352	571	604	341	560	532	929
商店街の活性化	59	72	119	126	64	78	139	280
農林業の振興	262	274	701	715	418	536	540	1,038
コミュニティ活動の活性化	27	27	79	88	36	47	60	96
その他	58	84	338	360	163	264	536	1,321
計	1,232	1,513	3,463	3,898	2,252	3,154	3,743	7,335

##### ○コミュニティ支援

コミュニティ協議会の運営支援 3,500 万円

校区コミュニティ協議会の運営を支援するため、活動に必要な人件費及び事務経費を補助する。

コミュニティ協議会を育成支援 900 万円

校区コミュニティ協議会が計画した協働の仕組みづくり促進事業に要する費用を助成する。

自治会活動を支援 2,900 万円

地域の自治会単位での活動を支援する。

むらづくり事業を継続 1,800 万円

集落地区単位で組織するむらづくり推進委員会で地域の課題を解決する場合に、その費用の一部を補助する。

#### ◎ 政策Ⅱ 伊佐の特性を活かす地域産業づくり ～雇用の促進～

##### ○農業振興

農地・農業用水等の農業資源の保全を支援（多面的機能支払交付金） 2億1,000万円

過疎化・高齢化・混住化により集落機能が低下する中で、地域共同による農地・農業用水等の農

業資源の保全管理活動と施設の長寿命化の活動を行う集落を支援する。

農地維持支払 (対象地区：37 地区)	9,800 万円
資源向上支払[共同活動] (対象地区：35 地区)	5,300 万円
資源向上支払[長寿命化] (対象地区：20 地区)	5,900 万円

**耕作放棄地を防止 (中山間地域等直接支払制度) 1 億 600 万円**  
 中山間地域において過疎化・高齢化が進む中、田畑の耕作放棄地防止を図る。

**新規就農者の育成を支援 2,000 万円**  
 青年就農者給付金 (経営開始型) 13 名 × 150 万円

**農地の集積を推進 (農地中間管理事業) 4,700 万円**  
 地域の中心となる経営体への農地集積や分散化した農地の連担化が円滑に進むよう、農地集積に協力する者に対し協力金を交付する。  
 経営転換協力金 30 名 × 50 万円  
 地域集積協力金 150ha × 21 万円

**自然環境を保全する営農活動を支援 (環境保全型農業直接支払交付金) 2,600 万円**  
 化学肥料・化学合成農薬を原則 5 割以上低減する取組と合わせて行う緑肥の作付や有機農業の取組など自然環境の保全に資する農業生産活動を支援する。  
 既取組団体 12 団体 (123 名) 新規取組 20 名 (見込)  
 カバークロップ (220ha) 有機農業 (59ha) 堆肥 (87ha) 複数取組 (2.5ha)

**意欲ある経営体の設備整備を支援 (経営体育成交付金) 900 万円**  
 人・農地プランに位置付けられた地域の中心経営体が融資を受けて行う農業用機械や施設の導入及び簡易な土地基盤の整備を支援する。

**農業・農村の活性化を支援 (産地づくり対策) 1,100 万円**  
 農業・農村の活性化を推進するための産地づくり対策事業を助成する。(県 1/3 市 1/6)  
 公益社団法人伊佐農業公社 (大豆用トラクター・スーパーソイル・ブームスプレーヤー)  
 事業費 890 万円  
 農事組合法人エコファーム永池 (乗用管理機・ねぎ用ハーベスタ・管理機・ハンマーナイフモア)  
 事業費 1,330 万円  
 農事組合法人下市山 (乗用田植え機) 事業費 270 万円

**売れる野菜の面積拡大と機械導入への支援 190 万円**  
 ・かぼちゃ磨き機導入補助  
 農家が導入するかぼちゃ磨き機の購入に対する補助  
 ・金山ねぎ面積拡大補助  
 新規栽培又は面積を拡大する農家の栽培に要する経費に対し補助

**6次産業化を支援【地方創生】 250 万円**  
 国の6次産業化事業の補助を受けない農林漁業者等の新商品の開発や販路開拓・拡大を支援する。

## ○畜産振興

**畜産基盤再編総合整備事業 6,800 万円**  
**草地畜産基盤整備事業**

売却された大口育成牧場等の施設 (牧草地、畜舎等) を地域振興公社が整備する。利用者負担分が市を經由する。

事業主体：地域振興公社	利用者：2 団体	利用者負担：6,800 万円
基本施設 (草地等) 整備、農業用施設整備		総事業費：2 億 4,300 万円

**資源リサイクル畜産環境整備の地元負担**

**2,500 万円**

(実質伊佐市負担分：1,100 万円)

資源リサイクルを目指す畜産環境整備の利用者負担分が市を経由するもの。

事業主体：地域振興公社 利用者：農業公社 利用者負担：1,300 万円

事業内容：用地造成、製品保管庫・運搬車整備 総事業費 4,600 万円 (国庫補助 3,400 万円)

農業公社 (堆肥センター設備整備等) における負担割合：JA10% 市 90% (1,100 万円)

**特定優良種雌牛の保留導入を促進**

**1,320 万円**

JA 北さつま管内で行われる子牛品評会において、保留牛及び秀賞牛に選定された牛を保留導入することに対し補助する。

(導入) 雌牛セリ平均価格を超える額 (1 万円未満は切り捨て) 上限 20 万円

(自家保留) 保留牛に選定された牛 15 万円 秀賞牛に選定された牛 7 万円

補助実績 (平成 29 年 1 月まで)

(単位：万円)

区分	H25		H26		H27		H28	
	頭数	補助金額	頭数	補助金額	頭数	補助金額	頭数	補助金額
導入	38	610	23	390	12	195	14	201
自家 保留牛選定	9	180	16	320	10	200	3	48
保留 秀賞牛選定	54	540	81	810	104	1,040	88	704
計	101	1,330	120	1,520	126	1,435	105	953

**牛舎施設の整備を支援**

**400 万円**

肉用牛の生産振興と生産技術体系の確立を目指し、経営の規模拡大とその安定化を図るため、牛舎を整備する者に対し補助する。

規模拡大 事業費の 1/3 補助 (上限 50 万円) 5 棟

子牛商品性向上 事業費の 1/3 補助 (上限 50 万円) 3 棟

**肉用牛のブランド化を推進**

**120 万円**

伊佐市産の子牛を購入した市内肥育農家に対しその購入費用の一部を助成する。

1 頭当たり：2 万円 購入数見込：60 頭

**子牛の生産拡大を推進**

**70 万円**

子牛の生産拡大を目指し、腔内留置型黄体ホルモン製剤 (イ-ザ-ブリード) の活用に係る経費の一部を助成する。

1 回当たり：700 円 (農家負担 2,150 円の約 1/3) 利用回数見込：1,000 回

**○農業基盤の整備**

**ほ場整備費の償還**

**1 億 1,500 万円**

平成 20 年度の合併当初は 23 億 1,500 万円の債務があったが、平成 29 年度の償還を終えると平成 30 年度以降の支出総額は 2 億 8,900 万円となる。(平成 37 年度終了)

**土地改良区が管理する農業用施設の維持管理補助**

**1,000 万円**

**○森林整備**

**森林環境保全・水源林整備として除間伐・再造林を推進**

**1,750 万円**

森林資源の保護と災害の発生を未然に防止する除間伐・再造林を補助する。

除間伐：150ha 造林：12ha 下刈等：40ha

**竹林資源の活用**

**1,080 万円**

特色ある特用竹産物の産地を育成するため、放置竹林の竹林資源活用を支援する。

【地方創生】竹林整備支援事業補助金(竹材買取り額上乘せ補助金)2 円/kg 見込：500 t	100 万円
【地方創生】竹材を活用した交流イベント	230 万円
モデル竹林整備	750 万円

<b>林道整備</b>			<b>5,340 万円</b>
H29 実施	開設：林道山ノ神線	舗装：林道西ノ山線	
	舗装補修：育成牧場林道	排水施設修繕：三日月林道	

## ○鳥獣被害対策

<b>有害鳥獣の捕獲（市単独事業）</b>	<b>1,100 万円</b>
-----------------------	-----------------

農林作物への被害対策として市有害鳥獣対策協議会の承認を得て有害鳥獣捕獲を実施する。

捕獲報償	(狩猟期)	シカ・アナグマ	800 頭×3,000 円
	(狩猟期外)	シカ	600 頭×7,000 円
		イノシシ	400 頭×6,500 円

<b>鳥獣害防止施設整備（市単独事業）</b>	<b>160 万円</b>
-------------------------	---------------

イノシシ等からの鳥獣害を防止するための施設整備に対し補助する。

イノシシ用電気柵	42,000 円 (1 基当たり) ×10 基
シカ用電気柵	81,000 円 (1 基当たり) ×15 基

<b>鳥獣被害防止総合対策事業（国庫補助事業）</b>	<b>7,040 万円</b>
-----------------------------	-----------------

・鳥獣被害防止等緊急捕獲対策（捕獲報償を 8,000 円上乘せ）	<b>640 万円</b>
----------------------------------	---------------

捕獲報償	(狩猟期外)	シカ	500 頭×8,000 円
		イノシシ	300 頭×8,000 円

・鳥獣被害防止総合対策（ハード事業）	<b>6,400 万円</b>
--------------------	-----------------

シカ・イノシシ用ワイヤーメッシュ柵 3箇所 41,585m

<b>鳥獣処理施設の運営</b>	<b>90 万円</b>
------------------	--------------

年間処理能力 シカ 30 頭 イノシシ 20 頭 H28 実績 (H29.1 まで) 効 47 頭 1/29 13 頭

## ○観光・交流・特産品振興

<b>DMO（地域と協働して観光地域づくりを行う法人）への支援【地方創生】</b>	<b>1,500 万円</b>
---	-----------------

地域づくりの舵取り役として他団体と調整しながら、情報収集・分析に基づく戦略による観光地域づくりを実現するために取り組むDMOをさつま町と共に支援する。

事業主体：(株) やさしいまち 市町合わせた補助金 3,000 万円

(財源：国 1,500 万円 さつま町 750 万円 伊佐市 750 万円 )

## ○商店街活性化

<b>屋台村を活用したまちの賑わい事業【地方創生】</b>	<b>100 万円</b>
-------------------------------	---------------

商店街に人が集まるきっかけとなるようなイベントへの補助。

<b>商工振興資金利子補給事業</b>	<b>800 万円</b>
---------------------	---------------

小規模事業者の経営安定化のため、資金の利子分を補助する。

<b>空き店舗活用、浄化槽新設改修、街路灯設置に対する補助</b>	<b>500 万円</b>
-----------------------------------	---------------

市内の空き店舗活用・浄化槽設置・街路灯設置等に対し補助する。

<b>地域振興事業補助（伊佐市商工会）</b>	<b>400 万円</b>
-------------------------	---------------

経営改善普及指導員及び商工会青年部・女性部の活動を推進するために補助する。

○公園整備

**重留多目的広場の管理** 1,500 万円  
 重留地区多目的広場を花公園として整備・運営管理を委託する。事業費：900 万円  
 重留地区の排水状況について調査を委託する。 事業費：600 万円

○雇用対策の促進

**高校生向け企業ガイダンスの開催** 10 万円  
 高校生の就職活動の情報を提供するとともに、企業の労働力確保を図る。

○移住・定住の促進

**地域おこし協力隊導入 【地方創生】** 130 万円  
 都市部から若者の人材を誘致し、多くの分野にわたり活動してもらう。伊佐を好きになってもらい、任期後は移住を進める。H29 は募集。H30 から受入。

**空き家バンク創設【地方創生】** 11 万円  
 市内の空き家を紹介することで、空き家活用を図る。

◎ 政策Ⅲ 自然と調和した快適な生活空間づくり ～道路・公共交通体系の整備～

○環境対策

**汚泥再生処理センター施設整備** 17 億 2,100 万円  
 H29 はプラント建設工事の最終年度となる。本格稼働予定 平成 30 年 4 月  
 事業実施期間：H24～H29 総事業費：32 億 2,900 万円  
 H27～H29 事業費：29 億 3,500 万円 内容：実施設計・プラント建設工事・性能検査  
 H29 末 (H30.1～) 試運転及び性能評価 汚泥搬入を順次新センターへ

**衛生センター施設閉鎖** 3,200 万円  
 汚泥再生処理センターの施設整備が完了するため、現在の衛生センターの施設閉鎖に伴う各貯留槽の清掃経費を計上。  
施設閉鎖予定 平成 30 年 3 月

**一般廃棄物収集運搬及び一般廃棄物最終処分場維持管理** 1 億 6,500 万円

**合併処理浄化槽の設置補助を継続** 5,400 万円

単独槽から合併槽への切り替えも含め、普及目標値をおおよそ達成する時期まで事業を継続する。

普及目標値 汚水処理人口普及率 60% (農業集落排水含む・単独浄化槽含めず)  
浄化槽人口普及率 50% (単独浄化槽含めず)  
 H27 までの実績 汚水処理人口普及率 53.737% 合併処理浄化槽人口普及率 41.650%

補助実績 (平成 29 年 1 月まで)

(単位：基)

区分	H25 基数	H26 基数	H27 基数	H28 基数
5 人槽	110	87	110	69
7 人槽	30	20	16	9
10 人槽	0	3	2	1
市内業者上乗せ (5～10 万円)	121	93	102	65
単独槽転換 (上限 9 万円)	13	12	6	11
単独槽転換 市内業者上乗せ (5 万円)	12	11	8	—
計	140	110	128	79

○社会資本の整備

道路及び橋梁の整備に係る工事請負費の状況（設計業務委託費、用地費等除く）

- ・市道等維持管理 9,600 万円  
 【維持補修】大田山野線（継続）、田代釘野々線（継続）、日の出線（継続）外 12 路線  
 【流末整備】前田 2 号線
- ・一般管理 道路新設改良 8,300 万円  
 【側溝整備】湯之谷 2 号線（継続）、徳辺下 2 号線（継続） 外 4 路線  
 【路肩整備】鳥巢 4 号線、下荒田 1 号線、下名線  
 【道路改良】針牟田川西線（継続）、田中 1 号線（継続）、上松淵辺線  
 【橋梁改修】湯之尾滝公園線（星流橋）
- ・過疎債・路線整備 2 億 8,000 万円  
 一ノ山小水流線、三日月線、徳辺湯之尾線、鶴泊 2 号線、楠原 1 号線 外 6 路線
- ・辺地債・路線整備 2,500 万円  
 十曾線道路改良
- ・浸水対策道路整備 1 億 4,600 万円  
 永尾金波田線（原田橋上部工）
- ・道路維持管理 生活道路補修（舗装・側溝整備） 1,200 万円  
 大口金波田里道（継続）、大口郡山里道（継続）
- ・橋梁長寿命化（橋りょう補修） 5,600 万円  
 新生橋、柴江橋、第 3 号橋、前田崎山橋、西後橋 外 8 橋

小水流団地の建替（Ⅱ期工事） 2 億円

公営住宅長寿命化計画に基づき小水流団地の老朽化へ対応する。  
 事業実施期間：H27～H29 総事業費：4 億 6,000 万円  
 H29 事業内容：建設工事Ⅱ期（5 棟 10 戸）、外構工事  
 入居開始日  
 I 期（H28 建設完了：5 棟 10 戸）H29.4.1  
 II 期（H29 建設完了：5 棟 10 戸）H30.2.1（予定）

交通安全のために道路設備等 1,000 万円

防護柵 420m、区画線 4,000m、ロードミラー 10 か所、ランプポール 20 本

木造住宅整備促進を継続（延長の最終年度）【地方創生】 1,700 万円

商工業の活性化と雇用の維持及び木材利用の促進を図るため、市内業者を利用して自ら居住する木造住宅を新築あるいは増改築した場合に、一定額（対象経費の 10%等）を助成する。

空き家活用事業補助金と統合し H27 から H29 まで 3 年間延長した。

助成実績（平成 29 年 1 月 31 日現在）

（単位：万円）

分類	H27				H28			
	申請件数	うち 40 歳以下加算	うち 18 歳以下加算	補助金額	申請件数	うち 40 歳以下加算	うち 18 歳以下加算	補助金額
新築	27	17	4	1,330	14	6	4	680
増改築	81	6	4	954	86	5	10	1,135

（水道事業会計）菱刈地区簡易水道等の施設整備 1 億 100 万円

- ・湯之尾・中央連絡管（簡水内連絡管）整備等
- ・配水管整備（新設・布設替）

（簡易水道事業特別会計）富士簡易水道の上水道化（H28～H30） 5,000 万円

平成 28～29 年度 富士地区配管工事  
 平成 30 年度 松木原地区配管工事、県許認可申請（市水道事業統合）  
 平成 31 年度 伊佐市水道事業として給水開始

(農業集落排水事業特別会計) 農業集落排水施設の機能強化 (H28~H32) 6,700 万円  
 平成 28 年度から平成 32 年度にかけて、菱刈中央地区及び菱刈北部地区の処理施設等の機能強化を行う。

○地域交通

- 市内バス運行委託 1,250 万円  
 市内バス運行の 6 路線を確保するための運営を委託する。
- 県際広域バス対策協議会 260 万円  
 新幹線水俣駅から鹿児島空港までの路線運営を水俣市・湧水町と共に補助する。
- 地域間幹線系統確保維持補助金 58 万円  
 大口から宮之城までの幹線路線バスの運営を補助する。
- のりあいタクシー運行事業補助 630 万円  
 のりあいタクシー運行 16 路線を確保するための運営を補助する。(週 6 回)

○防災対策

- 消防団第 2 分団詰所建設 5,400 万円  
 元町班・水ノ手班・諏訪班が統合するため、第 2 分団詰所を建設する。
- 消防団用備品購入 4,400 万円  
 消防ポンプ車 (1 台)・可搬車 (2 台)・可搬ポンプ (2 台)
- 伊佐・湧水消防組合運営負担 4 億 8,000 万円  
 ・特別負担分 2,700 万円  
 吉松分遣所の高規格救急車更新 総事業費 3,800 万円 (伊佐市負担分 2,700 万円)

○安全・安心

- 高齢者の免許返納者に商品券贈呈 420 万円  
 高齢者の事故防止対策として、運転免許証の自主返納者へタクシーチケット・商品券 3 万円分を贈呈する。(返納者見込：140 人)  
 ※「福祉タクシー利用の一部助成 2,900 万円」については、高齢者支援に記載

支援実績 (平成 29 年 1 月まで)

(単位：万円)							
H25		H26		H27		H28	
返納者数	金額	返納者数	金額	返納者数	金額	返納者数	金額
176	528	110	330	154	462	142	426

◎ 政策Ⅳ ともに支えあう明るく元気な人づくり ～地域福祉の体制づくり～

○医療・保健

- (国民健康保険事業特別会計)  
 ・外来人間ドック (118 名)・脳ドック (44 名)・PET がんドック (35 名) 630 万円
- (後期高齢者医療特別会計)  
 ・外来人間ドック (32 名)・脳ドック (11 名)・PET がんドック (6 名) 150 万円

**予防接種事業**

**6,150 万円**

**・子ども予防接種**

**4,400 万円**

平成 25 年度以降に定期接種となったワクチンの接種状況 (平成 28 年 10 月まで)

ワクチン	H25			H26			H27			H28		
	対象者数	接種者数	接種率	対象者数	接種者数	接種率	対象者数	接種者数	接種率	対象者数	接種者数	接種率
Hib	839	806	96.1%	890	855	96.1%	740	772	104.3%	667	428	64.2%
小児用肺炎球菌	833	804	96.5%	890	857	96.3%	740	776	104.9%	667	427	64.0%
子宮頸がん予防	357	77	21.6%	369	3	0.8%	336	0	0.0%	321	2	0.6%
水痘	-	-	-	1,056	410	38.8%	324	424	130.9%	370	212	57.3%
ロタ (任意)	-	-	-	-	-	-	354	323	91.2%	342	198	57.9%

※「水痘」ワクチン接種は、平成 26 年 10 月から定期接種となっています。

※「ロタウイルス」ワクチン接種は任意予防接種であるが、平成 27 年 4 月から公費で負担しています。

**・高齢者予防接種**

**1,750 万円**

高齢者インフルエンザと成人用肺炎球菌ワクチンの接種状況 (平成 28 年 12 月まで)

ワクチン	H25			H26			H27			H28		
	対象者数	接種者数	接種率									
高齢者インフル	10,630	7,408	69.7%	10,718	7,596	70.8%	10,671	7,365	69.0%	10,671	7,300	68.4%
高齢者肺炎球菌	-	-	-	2,339	1,135	48.5%	2,128	947	44.5%	2,426	840	34.6%

※「高齢者肺炎球菌」ワクチン接種は、平成 26 年 10 月から定期接種となっています。

**国民健康保険事業特別会計への特別支援 (赤字補填)**

**2 億 7,500 万円**

**【市単独負担分】**

◆国民健康保険税を市が一部負担して国保世帯を支援◆ ( 2 億 7,500 万円 )

国保一世帯当たり年間平均 5 万 5,000 円の保険税を、国保世帯にかわって市が負担。

⇒ 保険税の独自減額

国民健康保険事業特別会計は赤字であるが、今年度も引き続き国民健康保険税の増税は実施せず、一般会計から国民健康保険事業会計へ赤字補填を実施。

**○子育て支援**

**保育所等の運営を支援**

**11 億 2,600 万円**

平成 29 年度利用児数見込み 延べ 11,850 人 (月平均 987 人)

措置数 H27 延べ 11,908 人 (月平均 992 人) H28(見込) 延べ 11,640 人 (月平均 970 人)

**【市単独負担分】**

◆保育料を市が一部負担して子育て家庭を支援◆ ( 7,300 万円 )

利用児一人当たり年間平均 7 万 4,000 円の保育料を、保護者にかわって市が負担。

⇒ 保育料の独自減額 (国の標準保育料より)

**(その他保育に係る市単独の支援)**

**・第 3 子以降の保育料を完全無料化**

**( 3,200 万円 )**

国の基準に漏れる第 3 子以降の保育料について、市が負担して無料化を実施。

**・すこやか保育事業**

**780 万円**

保育士等の加配を行う保育所等に対して補助を行うことにより、発達に不安の感じられる乳幼児へのより丁寧なかかわりを支援。

**病児・病後児保育 ・一時預かり ・延長保育**

**1,730 万円**

子育て環境の変化に対応し、子育て世帯の就労等を支援。

**出産・育児応援事業****380 万円**

伊佐市民に対して新しく生まれた命を応援する。市内産婦人科等で生まれた子どもの親等に商品券を支給する。

伊佐市民：2 万円（見込：190 人）

交付実績（平成 29 年 1 月まで）

（単位：万円）

	H26		H27		H28	
	申請数	交付額	申請数	交付額	申請数	交付額
伊佐市	208	416	186	372	136	272
市外	82	82	81	81	72	72
計	290	498	267	453	208	344

**子ども発達支援センター（たんぼぼ）の運営****6,600 万円**

人として豊かに成長・発達していくために早期に適切な療育を行う児童発達支援、児童の集団生活適応支援やそこに関わるスタッフ支援のための保育所等訪問支援、利用計画を作成する児童相談支援を行う。（支援対象年齢：0 歳～就学前）

**療育の支援（ペアレントトレーニング事業）※教育委員会と連携****30 万円**

ペアレントトレーニングの支援者を養成し、発達支援に必要な対処方法等を保護者とともに考え、子育てに関する不安や悩みの軽減を図る。

**通所支援の助成****600 万円**

児童発達支援や放課後等デイサービスの利用者負担を助成し、児童のすこやかな成長を支援する。

**子育て支援センターの運営****3,200 万円**

地域子育て支援拠点事業（2 ヶ所）、親子教室事業、利用者支援事業（2 ヶ所）、ファミリー・サポート・センター事業を実施する。

**子育て支援コーディネーター 【地方創生】****260 万円**

伊佐市総合交流拠点施設「e-GA なんちゅう」に子育てコーディネーターを配置し、地域高齢者や地域住民、障がいを持つ人など、多様な人の交流・体験事業を実施する。子育て世代と地域をつなぎ、子育てにやさしいまちづくりを推進する。

**地域子育てトータルサポート事業****900 万円**

妊娠期から 18 歳までの児童と保護者への総合的な相談支援と支援体制ネットワークの構築を図る。

**放課後児童健全育成事業****4,100 万円**

保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校 1 年生から 6 年生までの児童を放課後及び長期休暇に預かり、指導員を配置し、適切な遊びや生活の場を与えて、児童の健全育成を図る。

学童クラブ業務委託（国 1/3 県 1/3 市 1/3） 13 クラブ

**○障がい者支援****障害福祉サービスを支援（障害者介護給付事業）****7 億 6,700 万円**

施設や在宅における障がい者等への介護（居宅介護・生活介護等）や、自立訓練・就労訓練等の支援を行う。

**障がい者の日常生活を支援（障害者地域生活支援事業）****2,300 万円**

障がい者等が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、日常生活用具の給付や手話通訳者の派遣等の支援を行う。

## ○高齢者支援

福祉タクシー利用一部助成の利便性を向上 2,900 万円  
 交通弱者である高齢者の通院・買物・公共施設等へのタクシー利用を助成する。  
 対象者（75 歳以上の高齢者及び障害認定されている方） 約 6,700 人

高齢者の就業機会を確保（シルバー人材センターへ補助）

- ・健康長寿ふれあい事業【地方創生】 250 万円
- ・ふるさとを守るおたすけ事業【地方創生】 300 万円
- ・高齢者活用・現役世代サポート事業【地方創生】 380 万円

## ○社会支援

民生・児童委員の活動費補助 1,100 万円  
 民生・児童委員の活動に対し、協議会へ補助する。

◎ 政策 V 地域と学び未来に生かす人づくり ～地域を担う人材の育成～

## ○文化芸術の振興

文化交流を通じて中高生の連携を推進【地方創生】 470 万円  
 ～中高生連携推進事業基金を活用～  
 ・子どもが創る本物感動文化フェスティバル ・演劇ワークショップ劇団いさ  
 ・中学校用楽器の更新

海潮忌（没後 40 周年）・文学フェスティバル ～海音寺潮五郎基金を活用～ 900 万円  
 海音寺潮五郎基金を活用し、没後 40 周年記念事業を開催する。  
 ・海潮忌・文学フェスティバルの充実 銀杏文芸賞・読書感想文画コンクール開催  
 ・歴史文学の振興 海音寺潮五郎文学講座を開催（年 6 回）  
 ・市内中学校・高等学校生徒へ、海音寺潮五郎著作単行本を配布

## ○スポーツの振興

平成 32 年度鹿児島国体カヌー競技開催に向けて 3 億 2,500 万円  
 準備委員会から実行委員会へ【地方創生】  
 かごしま国体伊佐市準備委員会への負担金 270 万円  
 競技開催に向けた会場準備【地方創生】  
 カヌー艇庫建設（外構・備品購入含む） 3 億 2,200 万円

## ○青少年の健全育成

青少年育成を支援 80 万円  
 ふるさと学寮事業（13 校区）、レインボーキッズいさへ補助を行う。

## ○教育環境の整備

全学校パソコン教室のパソコン・プリンター等更新 1 億 1,000 万円  
 児童・生徒用パソコンをデスクトップからタブレットへ

大口中央中学校のスクールバスを運行 3,500 万円  
 大口中央中学校への通学を支援するスクールバスの運行を行う。  
 コース：市内 6 コース 契約期間：H27～H31 債務負担額：1 億 7,700 万円

小学校の小規模改修 3,200 万円  
 体育館屋根等改修（大口東小）・体育館箱樋改修（本城小）、旧幼稚園等解体工事（羽月小）

**中学校の小規模改修**

1,300 万円

グラウンドバックネット改築・体育館窓格子設置（菱刈中）  
火災受信機取替（大口中央中）

**○教育支援****小中一貫教育の推進**

50 万円

菱刈中学校区（1 中学校 5 小学校）で連携型の小中一貫教育を推進し、安定した学校生活と学力向上を図る。（H27～H29）

**土曜いきいき講座の開催**

180 万円

児童生徒の基礎学力や学習意欲の向上を図るため、地域住民が講師となって講座を行う。

開催日：毎週土曜日 開催場所：伊佐市役所菱刈庁舎 3 階会議室

教養コース（英語・パソコン）：小学校 5 年生～中学校 3 年生 （算数）：小学校 3 年生～中学校 3 年生

基礎・基本コース（国語・数学・英語）：中学校 1～3 年生

**英語教育の強化（英語教育強化地域拠点事業）**

150 万円

大口中央中校区内 9 小学校と大口中央中学校及び大口高等学校を「英語教育強化地域」と指定し、小・中・高連携英語強化事業を実施する。 県 10/10

**奨学費の貸付**

2,450 万円

経済的理由により就学が困難である者に対し学費を貸与することにより有用な人材を育成する。

継続：27 人 新規：14 人

**姉妹都市（西之表市）への修学旅行費用を助成**

120 万円

戦後 70 周年を機により一層絆を深めるために、姉妹都市である西之表市への修学旅行費用を助成する。

対象：小学 6 年生（一部小学 5 年生を含む） 費用の 1/2 を助成

**高等学校の振興支援【地方創生】**

5,500 万円

- ・大口高校大学進学奨励金【H26～H30】 640 万円
- ・大口高校進学指導連携【H26～H30】 230 万円
- ・大口明光学園運営補助 180 万円
- ・大口明光学園市外生徒確保 960 万円
- ・魅力ある高校づくり補助（大口高校・伊佐農林高校・大口明光学園） 840 万円
  - 県立高校通学費補助
  - 原付通学準備補助
  - 技能資格取得補助（伊佐農林）
- ・下宿住宅等改修補助（大口高校・伊佐農林高校・大口明光学園） 50 万円
- ・下宿等費用補助 72 万円
- ・伊佐農林高校農林業後継者育成推進協議会負担金 16 万円
- ・伊佐農林高校農林技術科森林教育支援対策協議会負担金 32 万円
- ・高校学生寮建設補助 2,500 万円



## 【平成 29 年度伊佐市当初予算 (予算表)】

## ○歳入

(単位:千円)

区分	平成29年度		平成28年度		増減		
	当初予算額	構成比	当初予算額	構成比	増減	比率	
自主財源	市税	3,095,020	17.4%	3,108,056	17.7%	△ 13,036	△ 0.4%
	分担金及び負担金	165,006	0.9%	198,211	1.1%	△ 33,205	△ 16.8%
	使用料及び手数料	220,016	1.2%	224,160	1.3%	△ 4,144	△ 1.8%
	財産収入	39,408	0.2%	32,344	0.2%	7,064	21.8%
	寄附金	123,126	0.7%	59,116	0.3%	64,010	108.3%
	繰入金	753,537	4.2%	538,561	3.1%	214,976	39.9%
	繰越金	1	0.0%	80,000	0.5%	△ 79,999	△ 100.0%
	諸収入	237,012	1.3%	267,644	1.5%	△ 30,632	△ 11.4%
	自主財源計	4,633,126	26.0%	4,508,092	25.7%	125,034	2.8%
依存財源	地方譲与税	148,642	0.8%	148,642	0.8%	0	0.0%
	利子割交付金	3,268	0.0%	3,268	0.0%	0	0.0%
	配当割交付金	2,940	0.0%	2,940	0.0%	0	0.0%
	株式等譲渡所得割交付金	442	0.0%	442	0.0%	0	0.0%
	地方消費税交付金	509,012	2.9%	509,012	2.9%	0	0.0%
	自動車取得税交付金	12,672	0.1%	13,064	0.1%	△ 392	△ 3.0%
	地方特例交付金	8,016	0.0%	8,016	0.0%	0	0.0%
	地方交付税	5,639,713	31.7%	5,700,000	32.4%	△ 60,287	△ 1.1%
	交通安全対策特別交付金	3,400	0.0%	3,600	0.0%	△ 200	△ 5.6%
	国庫支出金	2,050,235	11.5%	2,485,931	14.1%	△ 435,696	△ 17.5%
	県支出金	2,158,734	12.1%	1,868,593	10.6%	290,141	15.5%
	市債	2,629,800	14.8%	2,318,400	13.2%	311,400	13.4%
	依存財源計	13,166,874	74.0%	13,061,908	74.3%	104,966	0.8%
歳入合計	17,800,000	100.0%	17,570,000	100.0%	230,000	1.3%	

※ 端数処理により合計と一致しない。

## ○歳出

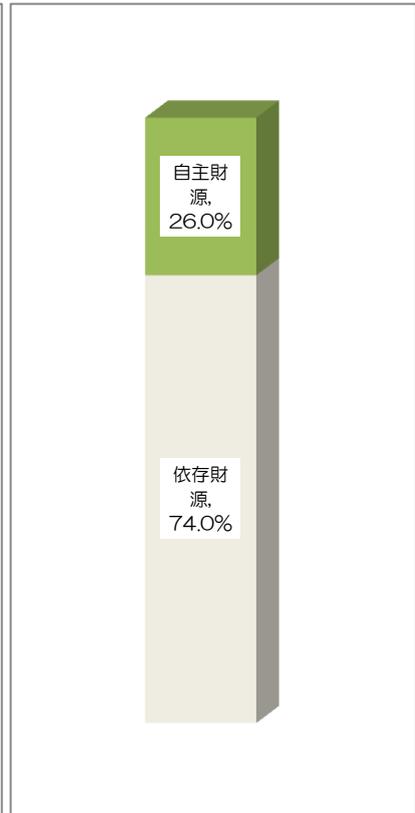
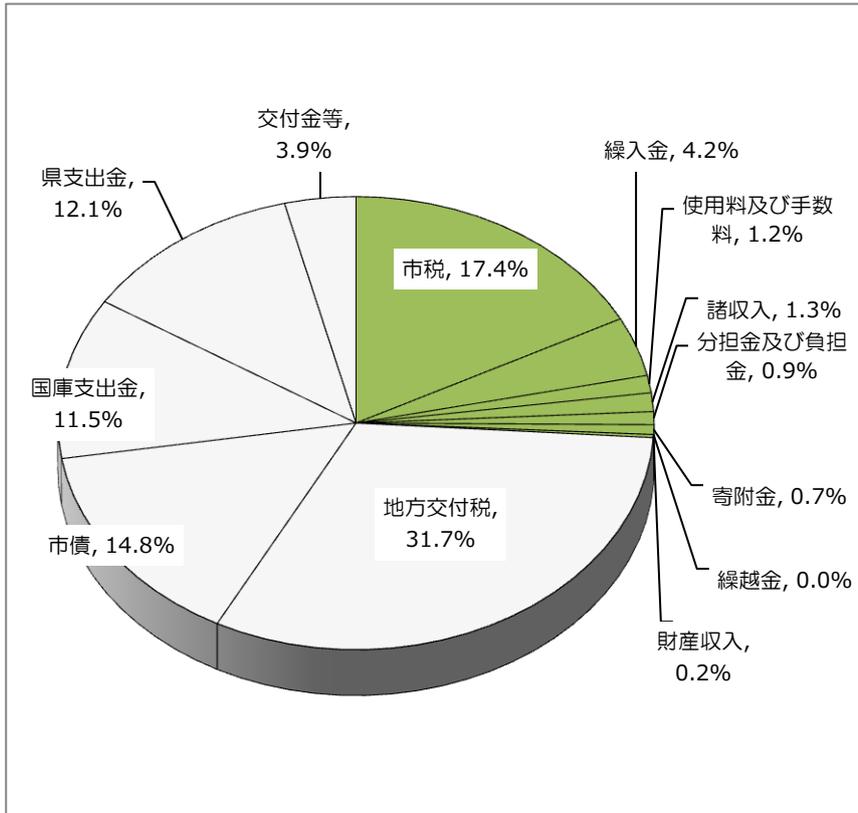
(単位:千円)

区分	平成29年度		平成28年度		増減		
	当初予算額	構成比	当初予算額	構成比	増減	比率	
義務的経費	人件費	2,302,933	12.9%	2,415,771	13.7%	△ 112,838	△ 4.7%
	(うち職員給)	1,368,749	7.7%	1,335,903	7.6%	32,846	2.5%
	扶助費	3,792,693	21.3%	4,141,688	23.6%	△ 348,995	△ 8.4%
	公債費	1,624,545	9.1%	1,586,066	9.0%	38,479	2.4%
義務的経費計	7,720,171	43.4%	8,143,525	46.3%	△ 423,354	△ 5.2%	
投資的経費	普通建設事業費	4,105,918	23.1%	3,481,380	19.8%	624,538	17.9%
	(うち補助事業)	2,473,664	13.9%	2,300,719	13.1%	172,945	7.5%
	(うち単独事業)	1,632,254	9.2%	1,180,661	6.7%	451,593	38.2%
	災害復旧事業費	136,176	0.8%	141,972	0.8%	△ 5,796	△ 4.1%
投資的経費計	4,242,094	23.8%	3,623,352	20.6%	618,742	17.1%	
その他の経費	物件費	1,675,100	9.4%	1,661,783	9.5%	13,317	0.8%
	維持補修費	151,326	0.9%	129,638	0.7%	21,688	16.7%
	補助費等	1,754,442	9.9%	1,865,016	10.6%	△ 110,574	△ 5.9%
	積立金	234,200	1.3%	163,565	0.9%	70,635	43.2%
	投資及び出資金	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	貸付金	24,480	0.1%	23,640	0.1%	840	3.6%
	繰出金	1,968,187	11.1%	1,929,481	11.0%	38,706	2.0%
	予備費	30,000	0.2%	30,000	0.2%	0	0.0%
その他の経費計	5,837,735	32.8%	5,803,123	33.0%	34,612	0.6%	
歳出合計	17,800,000	100.0%	17,570,000	100.0%	230,000	1.3%	

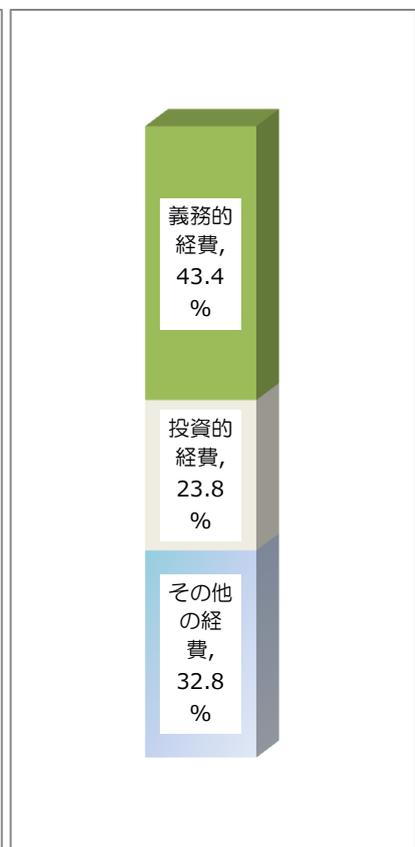
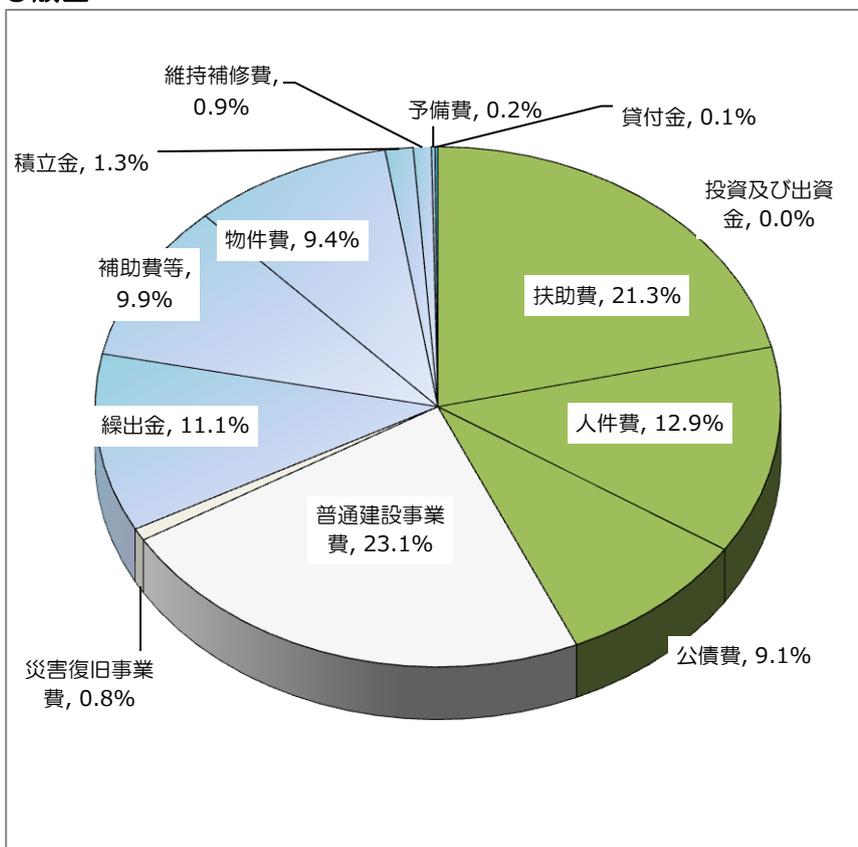
※ 端数処理により合計と一致しない。

【平成 29 年度伊佐市当初予算（一般会計グラフ）】

○歳入



○歳出



## 4 市債（市の借金）の状況

### 市の借金は平成 28 年度より 11 億 1 千万円増えます。

平成 29 年度末における市債（市の借金）の残高は、162 億 8 千万円となる。平成 29 年度は、汚泥再生処理センター建設、消防団詰所建設、市道整備、橋梁長寿命化の施設の老朽化に対応する社会資本整備等が予定され、11 億 1 千万円の増加となる。

【概数で表示】

区 分	平成 28 年度末 現在高見込額	平成 29 年度中 起債見込額	平成 29 年度中 元金償還見込額	平成 29 年度末 現在高見込額
市債合計	151 億 7 千万円	26 億 3 千万円	15 億 2 千万円	162 億 8 千万円
うち臨時財政対策債	63 億 9 千万円	5 億円	4 億 4 千万円	64 億 5 千万円

★合併時市債残高 159 億円 ⇒ 162 億 8 千万円 (3 億 8 千万円の増)

○26 年度地方債残高 県内 19 市中 15 位 (H26 決算カード比較)

○市民 1 人あたりに換算すると 60 万 1,226 円 (28 年度末 : 56 万 0,233 円 4 万 993 円増)

## 5 基金（市の貯金）の状況

### 市の貯金は平成 28 年度より 5 億 2 千万円減ります。

平成 29 年度末における基金（市の貯金）残高は、73 億円と見込む。社会資本の老朽化への対応、交付税の減少、毎年増え続ける扶助費、国民健康保険の赤字を補填するための費用により、財政調整基金を大きく取り崩すことになる。そのため、全体では 5 億 2 千万円の減少となる。

基金名	年度	合併時残高 決算 (千円)	28 年度末残高 見込 (千円)	(単位 : 千円)		
				29 年度予算 (千円)		
				取崩し	積立	年度末残高
財政調整基金		1,707,541	5,683,637	710,893	8,900	4,981,644
減債基金		200,006	643,861	1	69,524	713,384
退職手当準備基金		171,016				
特定公有財産取得基金		125,089	1,130,424	0	150,000	1,280,424
地域福祉基金		166,405	68,053	0	0	68,053
その他基金 (中山間、特産品、公衆浴場)		54,448	48,197	2,656	10	45,551
携帯電話基地局整備基金			38,600	0	5,700	44,300
木造住宅整備促進支援基金			17,557	17,557	0	0
海音寺潮五郎基金			150,653	9,058	66	141,661
水田高度利用化対策基金			3,500	0	0	3,500
鹿児島県立大口高等学校活性化基金			29,410	8,658	0	20,752
中高連携推進基金			8,421	4,714	0	3,707
合計		2,424,505	7,822,313	753,537	234,200	7,302,976

★合併時基金残高 24 億円 ⇒ 73 億円 (49 億円の増)

○26 年度基金残高 県内 19 市中 12 位 (H26 決算カード比較)

○市民 1 人あたりに換算すると 26 万 9,701 円 (28 年度末 : 28 万 8,880 円 1 万 9,179 円減)

### ～ 未来に向けて ～ (財政的所見)

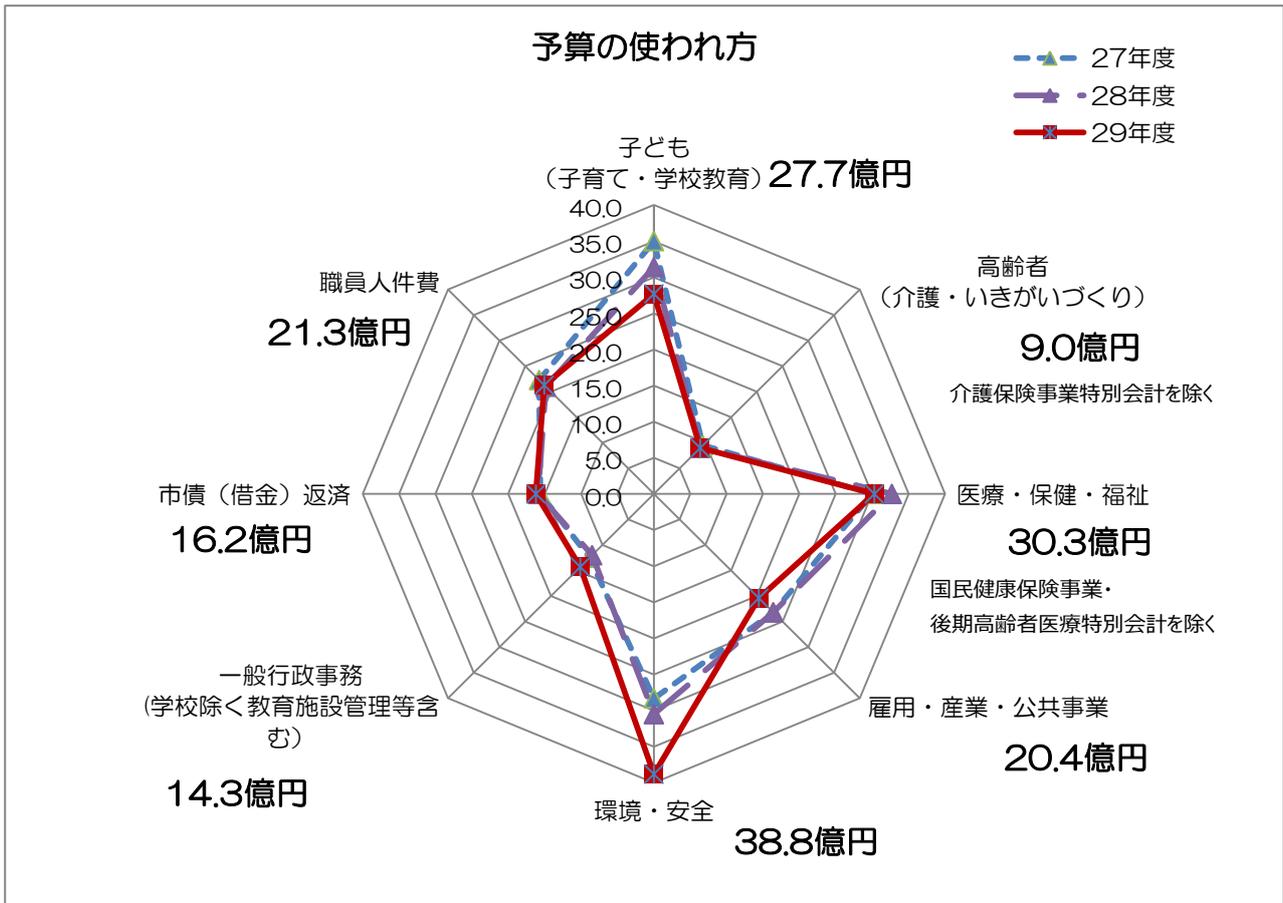
災害時に即対応できるのは財政調整基金があるからです。市民の暮らしを守るためにも、財政調整基金は確保していかなければなりません。そのためにも、基金を取り崩さない財政運営を心掛けます。

市民一人当たりの借金 60 万 1,226 円に対し、貯金は 26 万 9,701 円しかありません。将来につけを回すことのないよう、借金を減らし貯金を増やす努力をしていきます。

**【参考】平成 29 年度予算（一般会計）の使われ方**

★ 環境・安全に係る経費が 8 億 3 千万円増加します。

汚泥再生処理センターの建設工事に係る費用等が大きな要因となり、環境・安全に係る経費が 8 億 3 千万円増加します。今年度は学校施設の大規模な建替がないこと、障害児通所支援（障がい児放課後デイサービス）を直営から民間事業所に変更したこと等から子育て・学校教育に係る予算が減額となって見えますが、保育所運営支援経費に 11 億 2,600 万円、全学校のパソコン教室のパソコンをタブレットに更新する経費 1 億円を計上するなど、重点的に予算配分しています。一般行政事務に関する経費は、かごしま国体に向けたカヌー関連施設整備の経費に係る費用を計上したことから、2 億 3 千万円増加しています。公債費（借金の返済）については 3 千万円増加します。



項目	予算額			
	27年度	28年度	29年度	増減 (対前年度)
未来をにう子どもたちのために (子育て支援、教育)	35.0 億円	31.4 億円	27.7 億円	△ 3.7 億円
高齢者の安心で健やかな生活のために (高齢者の健康・いきがいづくり、生活支援、介護)	9.5 億円	9.0 億円	9.0 億円	0.0 億円
健やかな生活のための保健・医療と、福祉社会の実現のために (医療・保健、障害者福祉、生活支援など)	30.0 億円	32.7 億円	30.3 億円	△ 2.4 億円
雇用の確保と地域産業の振興のために (雇用対策、産業振興、公共事業)	23.2 億円	23.2 億円	20.4 億円	△ 2.8 億円
美しい自然と安心して利便性のある生活環境を守るために (環境・地球温暖化対策、防災・災害対策、情報通信・消費者対策)	28.3 億円	30.5 億円	38.8 億円	<b>8.3 億円</b>
確実な行政事務の実施のために (総務事務、議会、庁舎・学校除く施設管理など)	12.5 億円	12.0 億円	14.3 億円	<b>2.3 億円</b>
借金(市債)返済	15.6 億円	15.9 億円	16.2 億円	0.3 億円
職員人件費	22.3 億円	21.0 億円	21.3 億円	0.3 億円
合計	176.4 億円	175.7 億円	178.0 億円	2.3 億円

**【参考】伊佐市の予算を「我が家の家計簿」に置き換えると・・・**

伊佐市の予算を、所得 239 万 7 千円の家庭に置き換えてみました（1 か月当たり約 20 万円）。収入のほとんどは「親からの援助」に頼っており、支出では「家・車・電化製品の修理・買い替え」「家族の医療費」に係る経費が多くなっています。

このことは、「伊佐市は、収入では交付税や国・県の支出金などに依存しており、支出では建設や維持補修に係る経費や、福祉・医療などの社会保障に係る経費が多い」ことを意味しています。

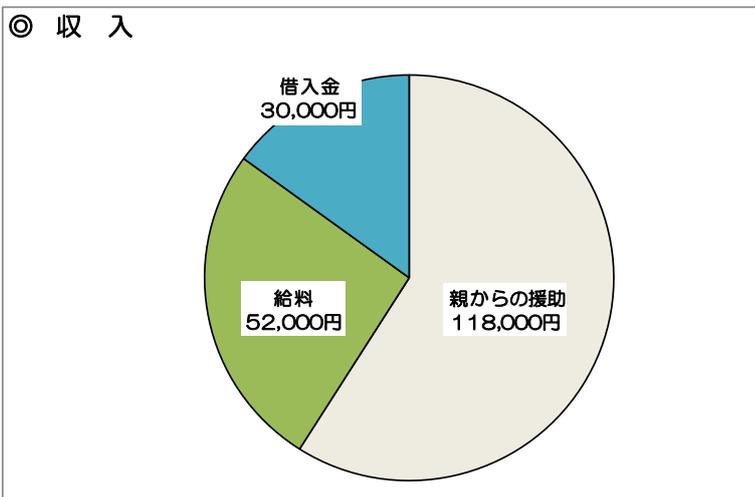
特に「家・車・電化製品の修理・買い替え（建設や維持補修に係る経費）」が大きく伸びており、伊佐市にとって老朽化した施設の維持管理等は喫緊の課題となっていることがわかります。

（「1 人暮らしの子どもへの仕送り」は繰出金を含んでおり、国保特別会計への繰出金は子どもが暮らしているところでもかかった医療費などと考えることができます。）

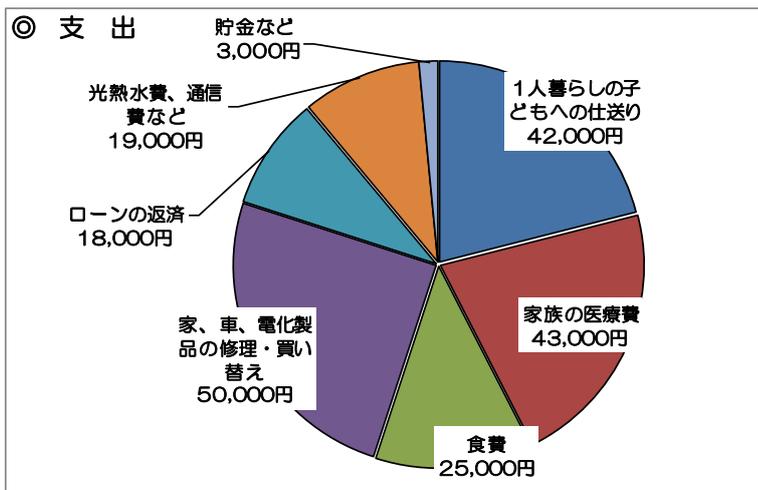
（平成 28 年 3 月 鹿児島県統計協会公表 「平成 25 年度 市町村民所得推計結果の概要」

伊佐市 1 人当たりの所得 2,397 千円 前年度比△71 千円）

<http://www.pref.kagoshima.jp/ac09/tokei/bunya/keizai/syotoku/h24gaiyou.html>



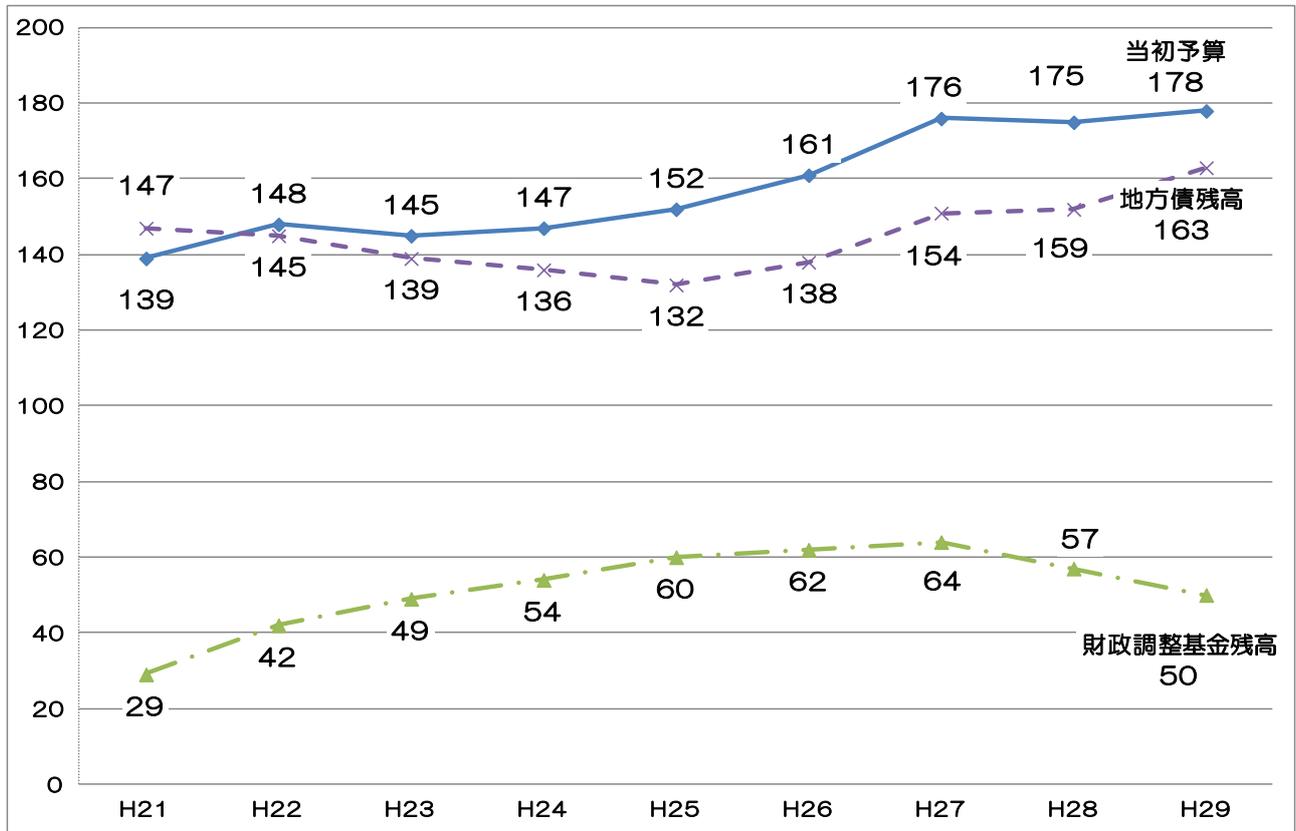
項目	収入額 (H29)
親からの援助 (交付税、国・県支出金など)	118,000 円
給料 (市税、諸収入など)	52,000 円
借入金 (市債)	30,000 円
<b>1 か月の収入合計</b>	<b>200,000 円</b>



項目	支出額 (H28)
1人暮らしの子どもへの仕送り (補助費、繰出金)	42,000 円
家族の医療費 (扶助費)	43,000 円
食費 (人件費)	25,000 円
家、車、電化製品の修理・買い替え (建設、維持補修費など)	50,000 円
ローンの返済 (公債費)	18,000 円
光熱水費、通信費など (物件費)	19,000 円
貯金など (積立金)	3,000 円
<b>1 か月の支出合計</b>	<b>200,000 円</b>

【参考】伊佐市の当初予算、地方債残高及び財政調整基金残高の推移

(単位：億円)



..... × 毛 .....

※ この資料は財政課が当初予算編成を通して特に思いを持った事業を中心にとりあげています。  
平成 29 年度に実施する事業を全て記載しているものではありませんのでご了承ください。

【お問合せ先】  
 伊佐市役所 財政課 財政係  
 〒895-2511 伊佐市大口里 1888 番地  
 電 話：0995-23-1311 (内線 1141・1142・1143)  
 F a x：0995-22-5344  
 E-mail: zaisei@city.isa.lg.jp